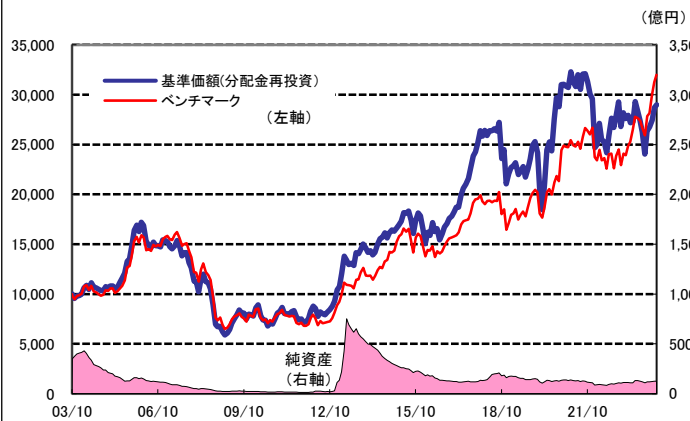


運用実績

2024年3月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000として指数化: 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 22,004円

※分配金控除後

純資産総額 124.1億円

- 信託設定日 2003年10月30日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則10月29日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	0.9%	2.4%
3ヵ月	8.3%	13.6%
6ヵ月	10.4%	20.1%
1年	3.8%	28.8%
3年	-10.3%	25.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2023年10月	400円
2022年10月	500円
2021年10月	700円
2020年10月	800円
2019年10月	400円

設定来 189.8% 219.8%

設定来累計 5,240円

設定来 = 2003年10月30日以降

ベンチマークであるRussell/Nomura Total Market Growthインデックスは、設定日前日を10,000として指数化しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2024年3月29日 現在

資産・市場別配分

資産・市場	純資産比
株式	96.4%
東証プライム	60.6%
東証スタンダード	14.5%
東証グロース	21.3%
その他	-
株式先物	-
株式実質	96.4%
現金等	3.6%

・株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

業種別配分

業種	純資産比
サービス業	22.8%
情報・通信業	21.8%
機械	19.1%
電気機器	5.2%
化学	4.6%
その他の業種	22.8%
その他の資産	3.6%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

組入上位10銘柄

2024年3月29日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比
野村マイクロ・サイエンス	機械	東証プライム	2.4%
日本マイクロニクス	電気機器	東証プライム	2.3%
TOWA	機械	東証プライム	2.1%
M&A総研ホールディングス	サービス業	東証プライム	2.0%
ローツェ	機械	東証プライム	2.0%
QPS研究所	情報・通信業	東証グロース	2.0%
FPパートナー	保険業	東証プライム	1.7%
タツモ	機械	東証プライム	1.5%
竹内製作所	機械	東証プライム	1.5%
グリーンズ	サービス業	東証スタンダード	1.5%
合計			19.0%

組入銘柄数 : 107銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

組入上位10銘柄の解説

2024年3月29日 現在

組入銘柄	組入銘柄解説
1 野村マイクロ・サイエンス	【会社概要】超純水装置の大手。北興化学から分岐。韓国、台湾企業向け顧客開拓で先駆。【強さ】(成長の継続力)半導体向け超純水装置は豊富な受注残に対して工事が順調に進捗し、業績好調。メンテナンス、消耗品も増加。医療関係企業へ注射用水製造装置の営業を強化し、海外展開も視野に入れている。
2 日本マイクロニクス	【会社概要】半導体検査用器具プローブカード主力で世界大手。強いメモリ向けに加えてロジック向け拡大中。【強さ】(成長の継続力)主力のメモリ向けプローブカードは回復途上も得意の先端品向けは底堅い。青森工場や韓国工場の積極投資続く。サステナビリティ推進室を設置し、環境や人材問題を機動的に検討する体制を整備。
3 TOWA	【会社概要】封止や切断加工など半導体後工程用製造装置大手。精密金型製作に競争力。中国等に生産拠点。【強さ】(成長の継続力)半導体装置伸長。好採算の保守、ツール販売も貢献。独自技術活用し低反射セラミックコーティング開発。眼鏡やディスプレイ用などに展開図る。
4 M&A総研ホールディングス	【会社概要】中堅・中小企業の事業承継型M&A(企業の合併・買収)仲介が主力。M&A仲介業務に用いる基幹業務システムを自社開発し、業務の効率化で生産性を高めている点が強み。【勢い】(成長の急伸力)独自のデータベース作成からテクノロジーの力で顧客対応が迅速にでき、成約数の増加、成約期間の短縮化などに優位性がある。
5 ローツェ	【会社概要】半導体や液晶工場に導入されるウエハ、ガラス基板の搬送装置を製造。【勢い】(成長の急伸力)FPD関連装置は伸び緩やかだが柱の半導体関連装置は受注残豊富で工場高稼働。海外ファウンドリー向け中心に受注加速を期待。シリコンウエハ上の金属不純物の検査装置を製造する企業を子会社化。
6 QPS研究所	【会社概要】小型衛星を開発・製造し、複数の衛星を地上から低軌道に打ち上げて取得した地球観測データ・画像の提供を行なう「地球観測衛星データ事業」を展開。【勢い】(成長の急伸力)今後の戦略として、多数の人工衛星を協調して一体的に動作させることで高度な価値を提供するシステムの構築などによる成長を目指す。
7 FPパートナー	【会社概要】生保軸の訪問型兼合代理店を全国展開。来店型店舗も。会社が集客、営業社員は募集と分業体制。【勢い】(成長の急伸力)営業社員の積極採用で新規顧客の獲得増え、貯蓄性保険中心に新規契約伸びる。継続契約によるストック収入も堅調増。フィナンシャル・プランナーによる証券口座の開設が拡大。
8 タツモ	【会社概要】半導体装置が主軸。液晶用塗布装置で高シェア。洗浄装置、プリント板装置などにも参入。【勢い】(成長の急伸力)半導体装置はパワー半導体向け、洗浄機はウエハメーカー向けが順調。搬送装置も着実増。市場拡大が見込まれる半導体装置は、外注先を増やし生産能力を増強する方針。
9 竹内製作所	【会社概要】ミニショベル主体の建機中堅。クローラーローダーを世界で初めて開発。海外販売比率が高くシェア上位。【強さ】(成長の継続力)米国工場が生産するクローラーローダーが伸長。米国中心に水道管、道路などの生活インフラや官民の建設投資需要が旺盛。現地サプライヤー開拓も順調。
10 グリーنز	【会社概要】三重県地盤のホテル運営会社。全国の都市に展開。ビジネスホテル「コンフォートホテル」などを運営。【勢い】(成長の急伸力)訪日外国人客や国内レジャー客などの増加で客室単価が上昇。平日中心にビジネス客が下支えし、稼働率は安定。出店戦略は新築に加えオペレーターチェンジによるもの。

(出所)「組入銘柄解説」は、各社ホームページ等の情報に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

## 先月の投資環境

○ 3月の国内株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が月間で3.47%上昇し、月末に2,768.62ポイントとなりました。ベンチマークのRussell/Nomura Total Market Growthインデックスは2.36%の上昇となり、TOPIXを1.11ポイント下回りました。

○ 3月の国内株式市場は上昇しました。月初は、前月末からの流れを引き継ぎ上昇し日経平均株価は4万円台まで上昇しましたが、日銀の金融政策修正への不透明感などから下落に転じました。中旬には、日銀の金融政策決定会合においてマイナス金利解除やETF(上場投資信託)の新規買入終了などが決定されましたが、当面は緩和的な金融環境が維持されるとの見方が広がりました。低金利の継続見通しが好感された不動産株や、円安・米ドル高が進行したことで採算改善が期待された輸出関連株などを中心に上昇しました。その後も、FOMC(米連邦公開市場委員会)の2024年の利下げ回数予想に変化がなかったことなどが好感されて上昇を続けました。月末にかけては、機関投資家のリバランス(資産の再配分)による株式売却などの需給悪化懸念から下落したものの、月間では3ヵ月連続の上昇となりました。

○ ベンチマークを東証33業種で見ると銀行業など23業種が上昇する一方、鉱業など7業種が下落しました。(当インデックスの月初におけるパルプ・紙、石油・石炭製品、海運業からの採用銘柄はありません。)

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ 月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は+0.93%で、ベンチマークを1.43ポイント下回りました。ベンチマークに対して投資比率を高めにしていただいていた情報・通信業株が値上がりしたことなどがプラスに寄与した一方で、ベンチマークに対して投資比率を高めにしていただいていたサービス業株が値下がりしたことなどがマイナスに影響しました。

○ ポートフォリオの主な変更は、電気機器株などを売却した一方で、サービス業株などを買い付けしました。

○ 業種別配分は、サービス業などをベンチマークより高め、電気機器などを低めに投資しています。

## 今後の運用方針(2024年4月3日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○ 今後の投資環境は、次のように考えています。

日本経済は緩やかな成長を続けています。2024年春闘の平均賃上げ率は前年比+5.25%となりました。2月の消費者態度指数は5ヵ月連続で上昇しており、消費マインドも改善を続けています。6月の定額減税も含めた実質的な所得改善を受けて、個人消費の回復は強まるとみており、2024年度前半の成長率を押し上げると考えています。日銀は、3月の金融政策決定会合でマイナス金利の解除を決定しました。2%の物価安定の目標が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況となったことが主な背景です。今後は短期金利水準の引き上げと長期国債買い入れ減額が焦点となります。特に、短期金利引き上げは住宅ローン金利など実体経済に悪影響を及ぼす可能性があり、注意が必要です。当社では政策金利を7月に0.25%程度へ利上げされる可能性があるかとみていますが、その後、当面は同程度の金利水準が維持されると予想しています。当社では、2024年の日本の実質GDP(国内総生産)成長率を前年比+0.4%と予想しています。

○ 株式の組み入れに当たっては、主として個別企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」により、企業の過去の実績と足元の業績動向を評価した上で、「強い競争力」と「優れた経営」をベースに、将来においても株主資本の成長を達成すると予想される企業を中心に選別投資します。また、大型優良株だけでなく、今後高成長が期待できる中小型株や、新たに成長企業に生まれ変わると判断できる企業なども選定し、組み入れを図ります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

## ◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- わが国の株式を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村リアルグロース・オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 組入銘柄の選定にあたっては、主として個別企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」により中長期的に高い成長が期待できる企業の株式(成長株)を選別します。さらに、企業の株価水準について、当該企業の成長性を勘案したうえでのバリュエーション評価(割高・割安度合いの評価)等を行ない、ポートフォリオの構築を行ないます。
- Russell/Nomura Total Market Growth インデックスをベンチマークとします。

※Russell/Nomura Total Market Growth インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社およびフランク・ラッセル・カンパニーは、Russell/Nomura Total Market Growth インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、Russell/Nomura Total Market Growth インデックスを用いて運用される当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

- 株式の実質組入比率は、高位(フルインベストメント)を基本とします。
- ファンドは、「野村リアルグロース・オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年10月29日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。  
\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(2003年10月30日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則10月29日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位 (ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。ファンドはNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.65%(税抜年1.50%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

<p>ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。</p> <p style="text-align: center;"><b>野村アセットマネジメント株式会社</b></p> <p style="text-align: center;">★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)</p> <p style="text-align: center;">&lt;受付時間&gt; 営業日の午前9時～午後5時</p> <p style="text-align: center;">★インターネットホームページ★ <a href="http://www.nomura-am.co.jp/">http://www.nomura-am.co.jp/</a></p>	<p>&lt;委託会社&gt; 野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]</p> <p>&lt;受託会社&gt; 野村信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]</p>
---	--

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# 野村リアルグロース・オープン

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

# 野村リアルグロース・オープン

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。